

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	穎娃おこそ会
役職	
氏名	佐藤利江子
着任日	令和5年6月1日

活動月	令和6年6月（着任13ヶ月）
主な活動	1. 他地域での作業へ参加 2. DIY 現場視察

1. 他地域での作業へ参加

先月に引き続き川辺と坊津の現場作業へ参加しました。同じ現場に継続して入ることで、進捗や抱えている課題などが見えてきます。また、同じメンバーで作業することでコミュニケーションが取りやすくなり、作業もスムーズに進みます。そこに新しい方が1人加わることで良い刺激にもなります。安心感がありつつ程よい緊張感を持ちながら作業できる現場が程よいのかなという感じがします。

また、川辺の勝目で新たな現場へ参加させていただきました。こちらは今まで見てきた現場が複数人で手がけているのに対し、ほぼ一人で進めているという現場でした。作業自体は一人ですが、地域の方との付き合いが親密で職人さん方に意見を聞きながら多くの人に支えられて進んでいるとのことでした。

余計なことは気にせず自分と向き合うにはとてもよい環境ですが、施主本人は「一人だと悩んで考えている時間が多く嫌になることが多い。だから誰かにDIYについてアドバイスを求められるとDIYはやめた方が良いと伝えている。」と冗談まじりに話していました。私自身も一人で自宅の改修をしていた時はあれこれ悩み、ネット検索をしてもっと悩み、というのを繰り返していたので、それを何年も続けているというのは並の精神力ではないなと思いました。この現場はほぼ毎日作業をしており、「1時間くらいでもOK!」というスタンスなので入る方としては気軽です。今後も引き続き参加させていただく予定です。



2. DIY 現場視察

日置の古民家を DIY している方の現場へ伺い、現場を見せていただくとともに、近所の方が手がけた完成した現場も紹介していただき、風合いの違った 2 現場を視察することができました。1 件目は築 100 年以上経過した古民家で、家自体はだいぶ傾いていました。こちらを手がけている方はコミュニティ作りの一環としての古民家再生という取り組みをしており、家を完成させるというよりは改修の過程を通して地域との関係性を作ることに重点を置いているようでした。

また、この地域の古民家再生に取り組む人に役立てればということで、かかった費用を細分化し何にどれくらい費用がかかるのか一目で分かるように管理していました。改修にかかる費用はその建物によって大きく異なるところですが、細分化されていることで素人の方が見ても改修の費用についてイメージしやすく、改修を検討する方にとってはとても良い資料だと感じました。

2 件目は自分で DIY をする予定で物件を購入後、検討段階で DIY を断念しほぼ専門業者にお任せしたという物件でした。断念理由は DIY を検討したところ道具や工程が膨大であること、元々第三者の使用を想定していたため責任を取りきれないということ、費用対効果を考えると専門業者に任せの方がいいということでしたが、印象的だったのはその方自身が他分野の職人であり、「素人がやるくらいのことはやらないでいてくれた方がよほどいい」と話していたことでした。また、建物自体は大工の方が自宅として建てた建物であり、造りがとてもしっかりしていたため、歪みはほとんど見られなかったとのこと相まってとても素晴らしい仕上がりでした。

成功例ばかりでなく、失敗や別の方法を取ったという話はとても貴重で自分から見つけようと思ってもなかなか辿り着けないもので、人との繋がりの大切さを知りました。

DIY は目的、期間、費用、物件の状況などを踏まえ検討した上で取り組む必要があると感じました。

